

○各科目の主な学習内容について

教科	科目	主な学習内容
国語	国語総合(基礎)	中学校の学習内容を確認しながら、高校課程の「現代文」分野と「古典」分野について、基礎的な内容を学習します。
	国語総合(標準)	高校課程の標準的な内容を学習します。「国語総合(基礎)」よりも高度な文章を読みます。
	現代文B	「国語総合」で学習した内容に基づき、近代以降に書かれた文章を読みます。「国語総合」よりもやや難しく、長い文章が多くなります。
	古典B	生涯にわたって古典に親しむための力をつけます。古文・漢文の両方を学習します。多くの作品を読むというのが目標ですので、一つのレポートで複数の作品を学習します。漢文は自分で書き下し文にできる力が必要になります。さらに現代文の長文読解の力も必要です。古典に描かれた人々の考え・生活に深く触れていく学習です。
地理歴史	世界史B	現代の世界がどのように形成されてきたのか、事実に即して具体的に学んでいきます。それぞれの時代ごとに、政治的・社会経済的・文化的特徴を理解していきましょう。これまでの歴史の上に現在があることに気づき、興味・関心を持って取り組んでいきましょう。
	日本史B	原始・古代から現代までの日本の歴史を学びます。歴史の大きな流れを把握しましょう。世界史との関わりの中で日本史を学ぶことで、現代に生きる私たちのあり方を考えていきます。日本の歩んできた道を現代に生きる自分自身と関わらせながら学んでみましょう。
	地理B	私たちの身のまわりの生活環境を理解することで、防災にも役立てます。また、世界各地の多様な人々の生活を学び、異文化理解を深めることで、国際社会で必要とされる資質を養います。さらに人口や環境など地球的な課題について学び、自分ができていることを考えていきます。
公民	倫理	「人生とは何か」「より良く生きるためには」など、私たちが必ずぶつかる壁があります。古今東西の思想家たちから、この壁を乗り越える「生きるヒント」を学びます。自分をじっくり見つめ、「考える」ことで、かけがえのない自分の生き方を探し出しましょう。
	政治・経済	私たちの日常生活は、そのまま政治・経済活動でもあります。自分の住む地域、そして日本・世界へと視野を拡大させることで、めまぐるしく変化する現代社会をどう生きていくかが、見えてきます。新聞やニュースに興味をもつことが第一歩です。
数学	数学Ⅰ(基礎)	計算を中心に中学校の学習内容を復習した後に、高校課程の基礎的な内容を学習します。
	数学Ⅰ(標準)	数学の基礎となる整式の加減乗除・因数分解などを学んだ後に、2次関数・三角比などについて学習します。数学Ⅱ・数学Aの学習を考えている人は、この科目を学習してからにしましょう。
	数学Ⅱ	数学Ⅰを発展拡充させたような学習内容です。「方程式・式と証明」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数と対数関数」「微分と積分の考え」について学びます。かなり難易度が高いので、数学Ⅰの学習内容を十分理解している必要があります。
	数学A	「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」を学習します。計算問題に加え、文章問題や証明問題を含むため、国語力が重要なカギを握ります。
理科	科学と人間生活	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事象や現象を自ら振り返って考察します。科学的な視点や考え方を学びます。
	物理基礎	自然事象について物理的考察を深めます。さらに、基礎的な計算問題を解きながら、自然事象の奥深さを確かめていきます。

教科	科目	主な学習内容
理科	化学基礎	これまで学んだ知識を復習したのちに、物質の成り立ちや構造を学習します。学んだ知識を使って、未知の現象を説明しようとする態度と力を身に付けることを目指します。基礎的な数学力がが必要です。
	生物基礎	生物の特徴(細胞・呼吸・光合成)、からだの調節(血液・尿・神経・ホルモン・血糖値・免疫)、遺伝、DNA、生態系システムなど、身近な生物から最近話題の遺伝子の問題まで広い範囲の勉強をします。
	地学基礎	宇宙の中の地球、地球に暮らす私たち人間と多種多様な生物、これらの進化と相互の関わりについて、過去から現在へとたどりながら学習し理解を深めます。
保健体育	保健	生涯を通じた健康づくりや将来の生活に役立つような事柄の基礎を学びます。「現代社会と健康」「生涯を通じる健康」「社会生活と健康」の3項目になります。
芸術	音楽Ⅰ	楽譜の読み方から入り、基礎的な音楽のルール(知識)を学習した後、歌を通していくつかの地域の音楽に触れます。また、音楽に関する様々なこと(映像と音楽の関係、ホールとは?など)について鑑賞を通して考えます。これらのことで、生涯にわたり音楽を愛好できる心情と感性を身につけていける学習内容です。
	美術Ⅰ	実技課題主体で、基本的な「もの」の見え方、描き方を分かりやすく解説し、静物・人物などの表現へとつなげます。またデザインも発想の仕方やプロセスなどを基本的な事柄から学習します。ほんのひと時でも自分を表現し感性を育ててみましょう。上手下手は問いません。画用紙を各自で用意することになります。
	書道Ⅰ	日常的・実用書写を学ぶとともに、現代の表記文字である漢字仮名交じり文を書として自己表現します。又、古典や現代の書の学習活動を通して多様な書美に触れ、より豊かな感性を育み、表現する楽しさを味わいます。書道用具一式を準備してください。その他に後期の学習に必要な「仮名筆」を教科書購入時に合わせて購入することになります。
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ(基礎)	中学校の学習内容の基礎を復習しながら、高校課程の基本的な内容を学習していきます。
	コミュニケーション英語Ⅰ(標準)	中学校の学習内容を踏まえながら高校課程の内容を学習していきます。将来、「コミュニケーション英語Ⅱ」の学習を考えている人には、この科目をお勧めします。
	コミュニケーション英語Ⅱ	「コミュニケーション英語Ⅰ」の内容を踏まえつつ、さらに発展的な英文や文法、表現を学習します。そのため、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容を十分身につけていることが望まれます。
家庭	家庭総合(前期)	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉などに関する知識と技術を学び、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につけることを目標とします。
	家庭総合(後期)	衣食住、消費生活などに関する知識と技術を学び、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につけることを目標とします。
	子どもの発達と保育	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識を習得し、子どもの健全な成長を図る能力と態度を身につけることを目標とします。
	フードデザイン	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得し、食事を総合的にデザインする能力と態度を身につけることを目標とします。
商業	ビジネス基礎	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を学び、ビジネスの諸活動に対応できる心構えと能力を身に付けます。
	経済活動と法	ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割について理解を深めます。また、経済事象を法律的に考え判断する能力と態度を身に付けることを目指します。
	簿記	企業における取引を記録・計算・整理できる能力を身に付け、1年間で簿記検定3級に合格できる力を養うことを目標とします。